

私たちが住み慣れた場所で安心して暮らしていくために、地域でのたすけあいをすすめます。また、毎日の食の安全を手に入れるために、私たちを取り巻く身近な環境を知り、環境改善にむけた取り組みを考え伝えていきます。月毎にテーマを決めてミニ学習会を行ないます。

1. 地域福祉

（1）たすけあい

①コミュニティ

- ・まちは新規コミュニティの立ち上げをすすめ、23区南全体で105コミュニティをめざします。
- ・コミュニティリーダー連絡会を開催し、リーダーどうしの交流と情報交換の場とします。
- ・日常および災害時でのお互いにたすけあう関係性をつくるため、茶話会、エコロ学習会、消費材モニター、回転備蓄受取りと図上訓練などを行ないます。
- ・活動休止中のコミュニティへのはたらきかけを検討します。

②エコロたすけあい制度（以下エコロ）

- ・新規加入時に同時加入をすすめ、同時加入率は配送 90%、デポー60%、全体で 75%をめざします。
- ・エコロ制度改定を広く知らせ、組合員どうしのたすけあいについて理解を深めるため、学習会を開催します。
- ・日ごろのケアがスムーズにすすむよう、コーディネーター連絡会やケア者研修・交流会を行ないます。

③たすけあい委員会

コミュニティや地域のたすけあいをすすめるため、まちに位置づく「たすけあい委員会」の形成をめざします。できるまちから、たすけあい委員会の立ち上げをすすめます。

（2）共済

- ・もう一つの消費材として、生活クラブ共済「ハグくみ」、CO・OP 共済のよさを伝え、加入をすすめます。
- ・年間計画〈はぐくみ〉463件、〈たすけあい〉677件、〈あいぷらす〉74件達成をめざします。
- ・ライフプラン講座を各まち1企画、23区南全体で12企画の開催をめざします。
- ・「くらしの見直し講演会」の開催をめざします。
- ・葬儀学習会の開催をめざします。

（3）地域機能

- ・子育て世代を孤立させない、地域で子育てしやすい居場所となるよう「子育てひろば」の新規立ち上げをめざします。
- ・2020年度に立ち上がったまち江戸川子育てひろばの活動を共有します。

2. 環境

1) 脱原発・再生可能エネルギーにシフト

- ・電気の共同購入の推進のために学習会や交流会を行ないます。電気の共同購入は契約目標数（23区南178件）を各まちの組合員数で按分し、各まちが目標を持ってすすめます。
- ・脱原発に向けた運動を継続し、再生可能エネルギーへの関心をもつよう働きかけます。

2) せっけん運動の推進

- ・石けんと合成洗剤の違いについて学習します。石けんのよさ、使い方などをひろく知らせ、利用を高めます。
- ・石けん 8品目*の利用人員率を四半期毎に前年度実績 2%UP を目標とし、新規加入者に合成洗剤利用からの切り替えをすすめます。

*石けん8品目：固型せっけん、粒状せっけん、無添加せっけん（針状）、洗濯用液体せっけんと空ボトル、詰替用洗濯用液体せっけん、キッチン用液体せっけん、キッチン用液体せっけん（詰替用）
固型せっけん（ケース）

- ・ 環境に配慮し、水環境を守る生活を考えるために東京学校企画環境政策委員会主催の開催に協力します。
- ・ シャボン玉月間首長メッセージ取得活動や自治体の公共施設での石けん利用の提案を生活クラブ運動グループ各地域協議会と協力して行います。
- ・ まちづくり委員会のもとに石けんチームを置き、石けんチームの活動を共有します。石けんチームは、石けんについて学習し組合員にわかりやすく伝える活動を行います。

3) ごみ問題、化学物質による環境汚染の解決にむけて

- ・ グリーンシステム・カタログ類回収について委員会で学習し、組合員に周知し、回収を呼びかけます。年間で東京全体で R びん回収率 85%、ピッキング袋回収率 60%を目指します。23 区南独自でグリーンシステムキャンペーンを行います。
- ・ 食品ロスや 4R（Refuse 発生回避・Reduce 排出抑制・Reuse 再利用・Recycle 再資源化）を学習し、なるべく環境負荷がかからない暮らし方を伝えていきます。
- ・ 生ごみ堆肥化資材アスカマン学習会を行ない、利用率アップに向け使用法を広く知らせていきます。
- ・ 化学物質による環境汚染について学習し、問題解決に向けた活動を検討していきます。
- ・ まちづくり委員会のもとに「松葉で環境を考える会」を置き、プラスチック廃棄による海洋汚染・大気汚染の理解、周知のため「松葉で環境を考える会」の活動を共有します。

4) 生物多様性の確保

- ・ 遺伝子組み換え問題（ゲノム編集を含む）について学習する機会を持ちます。GMO フリーゾーンサポーター登録の活動を年間を通じて行ないます。
- ・ まちづくり委員会のもとにグリーン・グリーン・チームを置き、生活クラブ館の緑化、維持管理を行なうグリーン・グリーン・チームの活動を共有します。

5) 調査活動

- ・ 都市近郊農家などの生きもの環境調査を行ないます。
- ・ 身近な地域の水辺の環境や河川などの水質を知るために、水辺の調査を各地域協議会で運動グループと協力して行ないます。
- ・ GM ナタネ自生調査活動を継続して行ないます。

3. 代理人運動

- ・ 学習会を行ない、理解を深めます。

4. 地域協議会、運動グループとの連携

- ・ 石けん運動や、調査活動などを地域協議会に提案し運動グループと連携して行ないます。